

# 関門地域の活性化推進に関する要望

令和6年11月

(一社)中国経済連合会・(一社)九州経済連合会  
関門連携委員会

## 要望の趣旨

下関と北九州両地域の総称である関門地域は、約 120 万人の人口集積を誇り、鉄鋼や自動車関連産業をはじめとした多くの製造業の集積地として、日本の経済に大きな役割を果たしてきました。また、世界大手の半導体製造企業の熊本県進出など九州全域に関連企業の集積が進んでおり、今後、九州と本州の更なる連携強化が日本の経済成長に大きく貢献できると考えています。さらに、本州と九州の結節点として交通の要衝にあり、日本の経済を支える人流・物流の大動脈の役割を果たすとともに、地理的優位性を活かし成長著しいアジアのゲートウェイとして今後益々の発展が期待されています。

一方で、関門トンネル・関門橋は老朽化が進み、工事や事故等による通行止めが頻発しており、また、高速道路ネットワークでは依然としてミッシングリンクが残るなど、地域の一体的発展を支える社会基盤は脆弱性や整備の遅れなどの課題を抱えています。特に、近年では豪雨など自然災害が激甚・頻発化しており、リダンダンシーの観点からも社会基盤整備の必要性が一段と高まっています。

また、デジタル技術の活用などによって、地域の個性をいかしながら地方を活性化するとともに、東京一極集中型から脱した分散型の国づくりが目指されていますが、関門地域においても、ローカルアドバンテージを引き出し、首都圏から人や企業を呼び込むことができるよう、地域自らの魅力を高める取り組みが求められています。

人口減少・少子高齢化が進展するわが国において、関門地域の更なる活性化、ひいては、わが国の経済発展に繋げるためには、このような課題を克服し、当地域の潜在力を十分に発揮することが、今までにも増して重要であると考えます。

以上の趣旨に基づき、次のとおり要望を取りまとめましたので、政府におかれましては、格別のご配慮を賜りますよう強く要望いたします。

## 記

### 1. 関門地域の一体的発展・国土強靱化に資する道路ネットワークの整備 拡充（ミッシングリンクの解消）

関門地域の一体的発展および日本経済を支える人流・物流の大動脈のリダンダンシー確保のため、道路整備が必要不可欠である。

#### （1）下関北九州道路の早期事業化

- ・循環型高速交通ネットワークの形成およびリダンダンシーの観点から必要不可欠である同道路の早期事業化
- ・同道路に併設する自転車歩行者道路の設置検討、地域観光資源としての活用検討支援

#### （2）高規格道路ネットワークの整備促進

- ・山陰自動車道の未着手区間の早期事業化および事業中区間の早期開通
- ・東九州自動車道の暫定2車線区間の着実な4車線化
- ・下関西道路を含む下関都市圏ネットワークの整備促進
- ・新北九州空港道路、北九州高速道路等の整備促進

#### （3）防災・減災対策の推進

- ・老朽化に加え、毎年のように発生する台風、豪雨などの大規模自然災害に対応するための道路・橋梁・港湾施設等の社会インフラの修繕・補修・補強を含む、関門地域の防災・減災対策の推進

### 2. 広域的な交流・連携に必要な空港・港湾の整備等

陸・海・空の物流インフラが充実し、アジアのゲートウェイとしての役割を担ってきた関門地域では、複数の高速道路や本州と九州の結節点という地理的特性を活かし、更なる物流拠点化を目指している。当地域の持続的な国際競争力向上やインバウンド拡大を見据え、物流・観光に資する空港・港湾の整備が必要である。

### (1) 空港の機能拡充

- ・北九州空港について、関門地域の物流総量の拡大に向けて、24時間発着の海上空港という特性を活かし、同地域の航空貨物拠点化の推進や大型貨物機による安定した離着陸を確保するため、3000mへの滑走路延長の早期実現
- ・深夜時間帯も就航可能な北九州空港の特性を最大限に活かし、突発的な遅延等に対応できるよう、また、同空港のエアライン誘致を促進するため、出入国管理と各種検疫業務を行う機関の常駐体制の構築
- ・訪日誘客支援空港（北九州、山口宇部）への支援制度の早期再開、ソフト面を含めた確実な支援

### (2) 港湾の整備促進

- ・下関港本港地区における耐震強化岸壁の整備促進
- ・北九州港における機能強化および耐震強化岸壁の整備促進
- ・カーボンニュートラルに資する港湾整備への支援

## 3. 産業振興・地域活性化に資する支援

今後の下関北九州道路の完成を見据え、関門地域の一体的発展を促進するためには、将来の成長が期待できる観光産業の振興や地域を支える新規成長産業の創出等により、地域活性化を図る必要がある。

### (1) 観光振興

- ・ICTの活用やMaaSによる旅行者の利便性向上、観光産業の生産性向上や経営改善に資する観光DXの推進
- ・地域特性や歴史的資産を活かした観光地づくりへの支援
- ・消費拡大に効果の高いコンテンツの整備、認知度向上に向けたプロモーションなどに関する支援

### (2) 情報通信基盤の整備促進

- ・地域の産業振興、課題解決に資する地域社会のスマート化に向けたデータ利活用推進のための環境整備、地域ニーズ・デジタル技術活用の実情を踏まえた情報通信インフラの整備促進

**(3) M a a S、新たなスマートモビリティ等の導入に係る支援**

- ・地域公共交通課題の解決や観光振興等を図るため、関門地域を含み官民一体となり検討を行っている九州M a a S構想における共助のビジネスモデル確立のための支援

**(4) 創業・ベンチャー起業の支援**

- ・新たな産業創出の充実に向けた、創業に関する相談窓口および支援施設数の更なる拡充、創業準備段階のベンチャーやフリーランスに必要な各種手続きのワンストップ化の促進等、創業・ベンチャー起業支援の強化

以 上

令和6年11月

(一社)中国経済連合会・(一社)九州経済連合会 関門連携委員会

委員長 曾我 徳将 (株)山口銀行代表取締役頭取)

副委員長 清原 生郎 (関門港湾建設(株)代表取締役社長)

副委員長 芦澤 俊介 (日産自動車九州(株)代表取締役社長)